

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2017-88631(P2017-88631A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2017-36134(P2017-36134)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/06

A 6 1 K 8/29

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 1/02

A 6 1 Q 17/04

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月19日(2018.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水不溶性スポンジと、前記水不溶性スポンジに含浸させる化粧料組成物とを含む化粧品において、

前記化粧品はパフをさらに含み、

前記水不溶性スポンジは、疎水性単量体高分子で形成され、

前記化粧料組成物は、以下のいずれか 1 つ以上の有機紫外線遮断剤を含み、

(i) 水溶性または水分散性有機紫外線遮断剤；

(ii) 水不溶性から水分散性に転換された有機紫外線遮断剤；若しくは

(iii) カプセル化された有機紫外線遮断剤、

油溶性有機紫外線遮断剤を全く含まないか、化粧料組成物に含まれる有機紫外線遮断剤総重量の 10 % 未満で含むことを特徴とする化粧品。

【請求項 2】

前記化粧料組成物は、無機紫外線遮断剤をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の化粧品。

【請求項 3】

前記化粧料組成物の剤形は、最外相が水相であることを特徴とする請求項 1 に記載の化粧品。

【請求項 4】

前記水不溶性スポンジは、スチレンブタジエンゴム（SBR）、ブタジエンゴム（BR）

、天然ゴム（NR）またはアクリロニトリルブタジエンゴム（NBR）が含まれる疎水性単量体高分子で形成されたことを特徴とする請求項1に記載の化粧品。

【請求項5】

前記化粧料組成物は、ファンデーションであることを特徴とする請求項1に記載の化粧品。